

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 飯島 郁郎

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
理科	4 大日本 理 科 理科の世界	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年用の巻末に「探究の進め方」、各学年用の巻頭に「理科の学習の進め方」の頁を置き、科学的に探究する手順や方法などを詳しく解説して学習の見通しを立てやすくしている。 ○ 観察・実験の解説では「目的」に加えて「着目点」を記載し、探究の方向を示唆している。また、基本的な器具や薬品の取扱方法、注意点が巻末資料としてまとめられており、検索しやすく工夫されている。 ○ 「くらしの中の理科」「科学のあしあと」「Science Press」「Professional」などの欄を設け、学習内容が日常生活でどのような活用をされているのかや、科学の発展、防災・職業との関連について話題にしている。また、「つながる」では他教科との関連を示しており、学習者の関心を高め、学ぶ意義・有用性を実感できるよう工夫されている。 ○ 「問題を見つけよう」「計画を立てよう」「話し合おう」等の欄では、キャラクターの会話を通して、他者との考え方の交流・対話的な学習を促している。 ○ 単元の導入で、「これまでに学習したこと」と「これから学習すること」を示すことで、学習内容を体系的に捉え、単元全体の見通しを立てやすくしている。また、「探究活動」・「発展」の頁の設置によりさらなる深い学びや高校での学習内容への関心をもたせ、つなげる工夫をしている。 ○ 「思い出そう」の欄では、本時の学習に関連する既習事項の確認をさせており、スムーズな学習への取組を支援している。また、定着が難しい法則等には、具体的な問題と解説を付けて説明している。さらに、まとめの頁や単元末問題・読解力問題の充実により、基礎的・基本的知識の確認や活用ができるように配慮されている。 ○ 単元の配列には、観察・実験に適した時期を考慮し、継続的探究を促すなど主体的に探究する能力の育成に配慮されている。また、学年間の調整がされており、理科室や備品等の不足が生じないように、教科経営への配慮がなされている。 ○ わかりやすく豊富な写真や図表等の資料が見やすくレイアウトされている。資料には県内の情報が多く取り上げられていて、生徒にとって身近に感じやすく関心を高められる。また、ユニバーサルデザインフォントを使用し、文字ポイントやルビ・吹き出し内の文章、色遣いなどにも発達の段階および個に応じた配慮がなされていて、読みやすく探究の過程を追いやすい。